

「COSMOS 第13回定例会」

日時：6月14日(金) 18:00~20:00

場所：国立科学博物館 地球館3F 実験実習室

参加人数：6名

1. 科学博物館の所管の変更と今後の取り組みについて

2018年10月、科学博物館を所管する組織が文部科学省から文化庁へ移った。これにより、科学博物館は3年の間に稼げる仕組みをつくる必要がでてきた。標本や研究などを活用して社会に貢献し、来場する顧客や学校、新たな研究などに還元をしていきたいという話があがった。COSMOSの教材を売りにするという案も上がった。

2. 謎解き形式の学習プログラムの紹介

当日参加された埼玉工業大学の先生から、トライボロジーに関する学びを謎解き形式で学習するプログラムの紹介が行われた。クロスワード形式で摩擦に関する問題を解く、クロスワードから出た単語を使って新しい謎解きに取り組む、摩擦の原理が利用されたフリクションボールペンで文字を消して暗号を読み解くなど、謎解きを楽しみながら摩擦を学習できるものとなっていた。この謎解きをCOSMOSでも作れば面白いのではないか、という話が上っていた。

3. ワークシート

ワーキンググループのオーナー同士の話し合いの中で「人によって科博を利用する時間や場所などが異なるので、誰もが学校の状況に合わせたワークシートをつくれるようにしていきたい」という内容がでた。受験問題を取り扱っているイグザムのように、科学博物館の場所やジャンルごとに問いを蓄積して、ワークシートを自動でつくるシステムを作成する方向で話が進行した。そのために必要な事柄として以下のような内容が挙がった。

- ・質の高い問いを多く出す。
- ・問いを出すためにとにかく科博を歩く。
- ・既に完成した問いを使用させてもらう。
- ・キーワードを覚えてもらう。
- ・音声ガイドを使いながら歩く。
- ・音声ガイドのテキストを入手する
- ・情報端末
- ・生徒から質問を募る。
- ・研究者に聞く。
- ・システムの構築を行う。
- ・メール配信でワークシート募集
- ・7月文書ワークシート募集

問いについては「展示を見てから展示の伝えたいことが見えつつ、高校生物につながる問い」になるように話が出た。また、地球館3階、1階、B1階、B2階と日本館3階、2階の6フロアを中心に作成することになった。そして、3月末にリリースすることが一つの目標となった。